

新基地建設反対名護共同センターニュース

参院選と知事選勝利が新基地阻止へ一番の近道

イハ氏が「県民生活・観光経済の回復、こども政策の充実、二度と沖縄を戦場にさせない」などと話し、「辺野古新基地建設を中止させるには参院選で私を、知事選でデニー知事を再選させることが一番の近道だ」と訴える参加者から大きな拍手と指笛が響きわたりました。

参院選予定候補・イハ洋一氏の総決起大会が6月18日、那覇新都心で開催され約1000人の県民が参加しました。玉城デニー知事や赤嶺政賢、新垣邦男両衆院議員・高良鉄美参院議員、県政与党県会議員が激励の挨拶をしました。デニー知事は「沖縄県民の思いをしっかりと国会の届けられるのは伊波氏だけ。必ず勝ちましょう」、赤嶺氏は「政府言いなりの相手候補に絶対に負けるわけにはいかない」と訴えました。



新都心では、全県各地の地域別に県民が集まり、司会者の音頭でエールの交換をしました。県民の連帯が深められ、熱い決意に満ちた決起大会となりました。

「県民生活と観光経済の回復・戦争は許さない」
新都心でのイハ洋一参院選決起集会に1000人

やんばる統一連がベトナム戦争の残酷さ学ぶ



写真上は熱演する右田さん。
写真右は、講演する石川さん

やんばる統一連（仲本興真代表）と「アレン奨学金沖縄」の共催で6月17日、右田隆さんの一人芝居と戦場カメラマンだった石川文洋さんの話を聞く会を名護民商会館で開き55人が参加しました。

一人芝居と戦場カメラマンの話を聞く会

右田さんは、元海兵隊員のアレン・ネルソン氏がベトナム戦での体験から日本国憲法9条の「語り部」として成長した経過を迫力ある演技で熱演しました。石川さんは、ベトナム戦争の従軍カメラマンの体験を自ら撮影した映像を使い戦争の残酷な実態を語りました。

ある参加者は「二人の演技と話に感動しました。ウクライナ問題もあり、二度と沖縄を戦場にさせないために今、自分たちが立ち上がることの大切さ、平和を守ることの重要性を再認識しました」と話していました。当日、参加者によってギターやサンシン演奏などもおこなわれ、和やかな雰囲気うちに終了しました。

仲山弁護士迎え愛知県で講演会



愛知県の平和委員会と安保破棄実行委員会はこのほど、沖縄県革新懇の代表世話人・仲山忠克弁護士を迎え「沖縄復帰50年と県知事選挙の勝利にむけて」の講演会を開催しました。仲山氏は、本土復帰に日本国憲法適用による基本的人権の保障を求めたが、50年後の現実は日米安保条約のもとで米軍基地によって県民の人権と安全が脅かされ、さらに辺野古に新基地が建設されつつある。「沖縄の現状が憲法の上に安保条約を置く日本の異常」を告発。沖縄県知事選は「戦争する国づくりを許さず、平和な未来をつくるたたかい。官邸主導選挙を打ち破る大衆的たたかいの構築」をよびかけ、「参院選で改憲勢力3分の2への阻止は重大だ」と訴えました。（通信・新城正男さん）

「政治がこんなに反動化するのは」と怒り

「オール沖縄会議」が提起した第3木曜日の集中行動を6月16日に再開し、キャンプ・シユワブのゲート前には雨の中、県内各島ぐるみから県民80人が集まりました（写真）。

この日、すべての工事は中止になったため、座り込みはなく、テント村で交流会を行いました。発言者は口々に、ロシアのウクライナへの侵略を批判し、この機に乗じて日本の軍備拡大と核共有、憲法改悪の動きが強まっていることに危機感を共有しました。沖縄を再び戦場にしたため参院選で伊波洋一さんと玉城デニー知事を再選させることを誓い合いました。



集中行動ではうるま市、沖縄市などの島ぐるみ会の代表がリレートーク。「自分が生きているうちに政治がこんなに反動化し、戦争が近づくと思わなかった」などの発言があり、参院選と知事選で「オール沖縄」を必ず勝利させよう」とこもごも決意が語られました。